

学校経営 ビジョン	「目標に向かって主体的に行動する人間性豊かな生徒の育成」	① 生徒指導を基盤とした学力向上の取組を通して、生徒の生きる力の育成を図る。 ② 学校や地域のよりよい伝統を受け継ぎながら、生徒全員が授業や諸活動に精力的に打ち込める環境づくりに努める。
--------------	------------------------------	--

評価項目	評価指標	具体的数値目標	評価規準		自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	関係者評価	学校関係者の評価のコメント
			指標	総合	指標	総合			
「知」	学業指導の徹底と生徒の主体性を生かした授業の実践 (課題解決型の学習展開)	『積極的に授業や体験活動に取り組んでいる』の生徒が80%以上	4…70%以上 2…30%~50%	3…50%~70% 1…30%未満	4	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の自己評価で見ると全学年において目標値を超えることができた。一方で個々の教科で見ると教科によるムラやばらつき(偏り)も見られる。学習方法や学習への取組についての自己評価が低い。引き続き各教科で授業改善に取り組み、意欲の喚起を図るとともに定着に向けた取組も必要である。</li> <li>○ 全学年平均が75%以上で目標を達成できた。</li> <li>○ 授業内容については、ほとんどの生徒が理解しているという結果がでている。各学年の学力調査の経年比較をみると特に3年生が大きく伸びてきている。一方で、1、2年生の伸びは小さい。今後も分かる授業の構築に向けて学校全体で取り組んでいきたい。</li> <li>○ 一人1端末が導入され、各教科で積極的に活用されている。</li> <li>○ デジタル教科書や電子黒板、タブレットを活用した授業が定着している。</li> <li>○ 一方で教師間(教科間)の差がみられることから、校内研修を充実させ全職員が積極的に活用できる環境作りが引き続き必要と思われる。</li> <li>○ 生徒の評価は、目標値に達しなかった。</li> <li>○ 農業体験学習、職場体験学習は大変高い満足度であった。受け入れ農家様及び各事業所様のご協力、ご配慮に感謝したい。</li> <li>○ 英検の受検者数で見ると前年度減という結果だが、今年度はその他に漢検、数検も実施された。</li> <li>○ 検定集会を開くなど年度当初より生徒及び保護者に受検を推奨した。昨年度比10%減となったが、来年度も漢検や数検も含めさらなる受検者増を目指したい。</li> <li>○ 各学年で調べ学習を中心に活用が見られたが、教科による偏りがみられる。</li> <li>○ 図書館支援員の砂田様が常に図書館を子どもたちの視点に立ち献身的に整備してくださり、充実した図書館環境になっている。貸出冊数が前年度を下回る結果となった原因については、今後検討していきたい。</li> </ul>	3.2	<p>○学校独自のアンケートよりも客観性のあるデータ(QU検査など)を基にした現状分析が必要ではないか。その検査結果などを基に学習方法や取組の分析などに生かし、指導力の向上などに努めてほしい。</p> <p>○ICT教育が充実してきているが、教師間の指導力に差があるのではないか。研修などを通して指導力の向上に努め、学力の向上に努めてほしい。</p> <p>○職場体験などキャリア教育の充実の面で大変、意義ある活動である。しかし、ただ職業を体験することどまらず、社会において求められている自己をアピールする力やコミュニケーション能力、表現する力や伝え力、聴き取る力なども伸ばし、一人ひとりの自信につなげる活動も取り入れていくことも大切ではないか。</p> <p>○1・2年生の学力の伸びが大いに期待される。3年生が伸びるのはある意味、受験の影響もあるだろう。1・2年次から着実に伸びていければ、さらに大きく飛躍できるのではないか。そのための仕掛けや指導力の向上に期待したい。</p> <p>○各種検定が充実してきている。英検だけではなく、漢検、数検など様々な検定に多くの生徒が取り組めると学習意欲の向上にもつながるのではないか。</p>
		学校独自の調査(授業評価)の理解度の項目で「3」「4」の生徒が75%以上	4…70%以上 2…30%~50%	3…50%~70% 1…30%未満	4				
	生徒一人一人の理解度を確認し分かる・できるまで教える授業の実践(諸テストの分析)	学校独自の調査のICTの活用項目で「3」「4」の生徒が70%以上	4…70%以上 2…30~50%	3…50~70% 1…30%未満	4				
	キャリア教育の推進と学校図書の効果的活用	農業体験学習及び職場体験学習での満足度90%以上	4…1・2年とも90%以上 2…1年のみ90%以上	3…2年のみ90%以上 1…1・2年とも90%以下	1				
		英検受検生徒前年比30%増	4…30%以上 2…10~20%以下	3…20~30% 1…昨年度比マイナス	1				
	学校図書授業活用年間5回以上	4…3回以上 2…1~2回	3…2回以上 1…0~1回	4					
「徳」	思いやりの心をもった望ましい学級集団づくり	学校独自の調査における『思いやりのある言動をとっている』「3」「4」の生徒が100%	4…100% 2…79~60%	3…99~80% 1…59%以下	3	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年とも生徒の自己評価では肯定的な結果となった。学級内で悪ふざけやいじめなどは受けていないが、認められる場面が少ないと感じている生徒が多くなっている結果が出ているので学級作りに生かしていきたい。</li> <li>○ いつでも起こりうるという視点で学級経営や所属集団に目を向けていきたい。</li> <li>○ 毎月、生徒に学校生活アンケートを実施し生徒の悩みやトラブル等の把握に努めた。</li> <li>○ 人権教育や道徳の時間の充実、いじめ・不登校対策委員会の毎週実施を続けている。</li> <li>○ 保護者との連絡をとりながら、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)等の関係機関と連携し、個に応じた対応を図っており、いじめやトラブル等も解消してきている。一方で別室登校の生徒、不登校傾向のある生徒がいる。</li> <li>○ 不登校生徒の解消のためには保護者との連携が不可欠であるため、今後も粘り強く話し合っていきたい。</li> <li>○ 生徒の平均が3.0、保護者が3.2という結果であった。コロナ禍にあって、地域の行事は中止になったものが多かったが、学校行事は縮小しながらも中止にせず生徒が活躍する場を設けてきたことがよかった。</li> </ul>	2.9	<p>○保護者アンケートの結果を見ると、ゲームの時間やスマホの使用時間、家庭学習の時間などかなりの差がある。結果を公表し、一緒に考えていきたい。</p> <p>○不登校の問題については、その要因などとてもデリケートな問題だと思う。QU検査などを通して生徒個々の状況把握に努め、コミュニティースクールの理念にもあるように、学校は地域が育てるという認識をもって地域としても何かできることがあれば一緒に考えていくことはできないか。</p> <p>○いじめは本当にゼロなのだろうか。あっても言えないのではないか。常にそのような認識で見守ってもらいたい。</p>
	生徒と向き合う時間の確保と保護者とともに支援する職員体制づくり(いじめ撲滅)	学校生活アンケートいじめ年間累計0(解消) 新たな不登校0	4…いじめ:0 不登校:0 2…いじめ:解消せず 不登校:0	3…いじめ:0不登校:あり 1…いじめ:解消せず 不登校:あり	3				
	生徒会活動の充実と地域協賛員が活動推進	生徒・保護者アンケート(4段階評価)で、3.0以上	4…全学年3.0以上 2…1つの学年が3.0以上	3…2つの学年が3.0以上 1…全学年3.0以下	2				
「体」	健全な生活習慣の確立と基礎体力づくり	新体力テストにおいて、全学年6種目以上で県平均を上回る。	4…学年・男女とも6種目以上 2…6種目以上が半分以下	3…6種目以上が半分以上 1…6種目以上がなし	2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年において県平均を上回る種目が少なくなってきた。基本的な体力や運動能力の低下が懸念される。部活動加入生徒が少なくなってきたので、1・2年生においても今後の推移を見守っていきたい。</li> <li>○ 虫歯治療率80%以上を達成できなかった。今後は、治療率100%をめざして生徒ももちろん保護者への啓発等引き続き年度末まで指導していく。(小林市内では1位)</li> <li>○ 例年9月と1月に計画している。8月に地震を想定した避難訓練、1月には消防署による火災対応の避難訓練が実施できた。また、11月に宮崎県シェイクアウト訓練に参加した。今後は、地域とともに減災の視点に立った力の育成をめざした取組を検討していきたい。</li> </ul>	3.0	<p>○全国的に体力の低下が言われているが、その原因は何なのか。分析や小学校との共有、連携も必要ではないか。地域でも貢献できる方策を考えていきたい。</p> <p>○部活動加入率の低下が気になる。</p> <p>○この地域ならではの防災教育に目を向ける必要がある。地域の経験を過去のものにするのではなく、「助けられる人」から「助ける人」への教育につなげる工夫が大切。</p>
		むし歯治療率80%以上	4…80%以上 2…60%以上	3…70%以上 1…60%以下	3				
	防災学習の実施と危機回避意識の高揚	防災にかかると学習2回 避難訓練の内容見直し	4…年2回と訓練内容見直し 2…年1回実施	3…年2回実施 1…未実施	4				
「食」	給食指導を通しての食事のマナー定着及び朝食の推奨	全ての学級で残食0・朝食をとらない生徒0 給食感謝週間の実施	4…残食0、朝食とらない生徒0 2…残食あり、朝食時々とらない	3…残食0、朝食を時々とらない生徒あり 1…残食あり、朝食とらない	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年で、ほぼ残食0である。</li> <li>○ 朝食を全くとらない生徒は全学年いないが、時々とらない生徒が若干名見受けられる。毎日、規則正しく朝食をとることの大切さを生徒及び保護者に指導していく。</li> <li>○ 弁当の日を年3回計画した。実施に当たっては、保護者向けの文書を配付し、協力をお願いすると同時に、生産者や保護者への感謝の気持ちもたせるように指導した。</li> </ul>	3.5	<p>○朝食を摂っていない生徒の理由の把握とともに、支援として、まち協の取組をぜひ活用してほしい。</p> <p>○生産者や保護者への感謝とともに、食の大切さを保護者と共有する取り組みも必要ではないだろうか。</p> <p>○虫歯治療率100%をぜひ達成してほしい。</p>
	弁当の日の実施と食への感謝	弁当の日を3回以上実施 日々の食事に関するイベント	4…3回実施 2…1回実施	3…2回実施 1…未実施	4				

次年度の方向性についての校長所見	評価を通して、次年度以降の学校づくりに生かしていくために、以下の実践について職員とともに取り組んでいきたい。(1) 授業力の向上に向けた現状分析及び具体的な改善策の検討 (2) 生徒の居場所づくりを意識した学級づくりや学校づくりを通じた自己肯定感の高揚 (3) さらに開かれた学校づくりのための手立てを講じる。特に生徒、保護者、地域の方の理解が得られるようなカリキュラム・マネジメントに努める。 以上のような学校づくりを目指しながら、生徒・保護者・地域の期待に応えられる学校運営をめざしたい。
------------------	--

